

2020 スローガン「つなぐ」学年装飾 北門祭 写真集

誇り責任



「つなぐ」をスローガンに、全校生徒のパワーを結集して盛り上がるはずだった北門祭ですが、合唱コンクールを始め、ほとんどの取組を中止せざるを得ませんでした。楽しみにしていた生徒のみなさん、保護者の皆様にはたいへん申し訳なく思っています。しかし、そのような中で各学年の創作活動として作成した装飾が、現在、校内のあちこちを彩っています。学校中の階段で、四季折々の行事や風物詩で楽しませてくれる1学年の階段アート。校内に入ってすぐに目を引き、鮮やかな色彩で丁寧に作り込まれた2学年の大小のスタンドグラス。体育館ステージと渡り廊下を飾る、まさに壁画という名にふさわしい3学年の迫力あるモザイク壁画。作品だけでなく、完成させるまでの生徒のみなさんの取組も素晴らしかったと思います。保護者の皆様に直接ご覧いただく機会を持ってないことが残念ですが、この紙面で子どもたちの頑張りを感じていただければ幸いです。

令和2年12月25日(金)

旭川市立北門中学校
校長 飛弾野 文彦

今年の北門祭のテーマは「つなぐ」です。今年度は、行事が少なく、人と関わる機会が減ってしまいました。そこでテーマに、人との関わりを「つなぐ」という想いを込めました。また、60周年記念ということもあり、次の北門中学校へ「つなぐ」という想いも込められています。合唱コンクールやステージ発表は中止になってしまいましたが、一生懸命制作に取り組みました。さまざまな作品をご覧いただき、保護者や地域の皆様に、私たちの努力が伝われば嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

生徒会長 下村 悠夏

1学年 階段アート

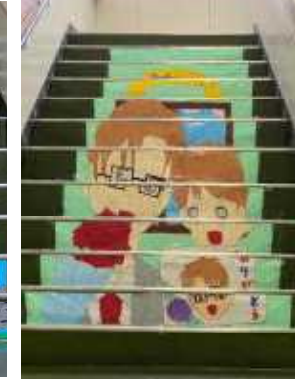
北門祭スローガン「つなぐ」のもと、各学級の学級代表が意見を出し合い、1月から12月までの1年間を階段アートで「つなぐ」ことを考えました。それぞれ月毎のグループに分かれて、日本だけでなく、世界の国々のイベントを調べ、12ヶ月を通して、世界も「つなぐ」ようになっていきます。この活動は、初めて他のクラスの生徒と協力して行いました。配色など、みんなで話し合いながら作品を完成させることができました。コロナ禍の中、先の見えない活動ではありましたが、そんな中でやり遂げた1年生の作品をぜひ写真で楽しんでください。



4月「イースター」



5月「こいのぼり」



6月「梅雨・父の日」



7月「七夕」



8月「スイカ割り」



9月「アウトバーフェスティバル」



10月「ハロウィン」



11月「謝肉祭」



12月「クリスマス」



1月「ウップハーアー」



2月「節分」



3月「ランタンフェスティバル」

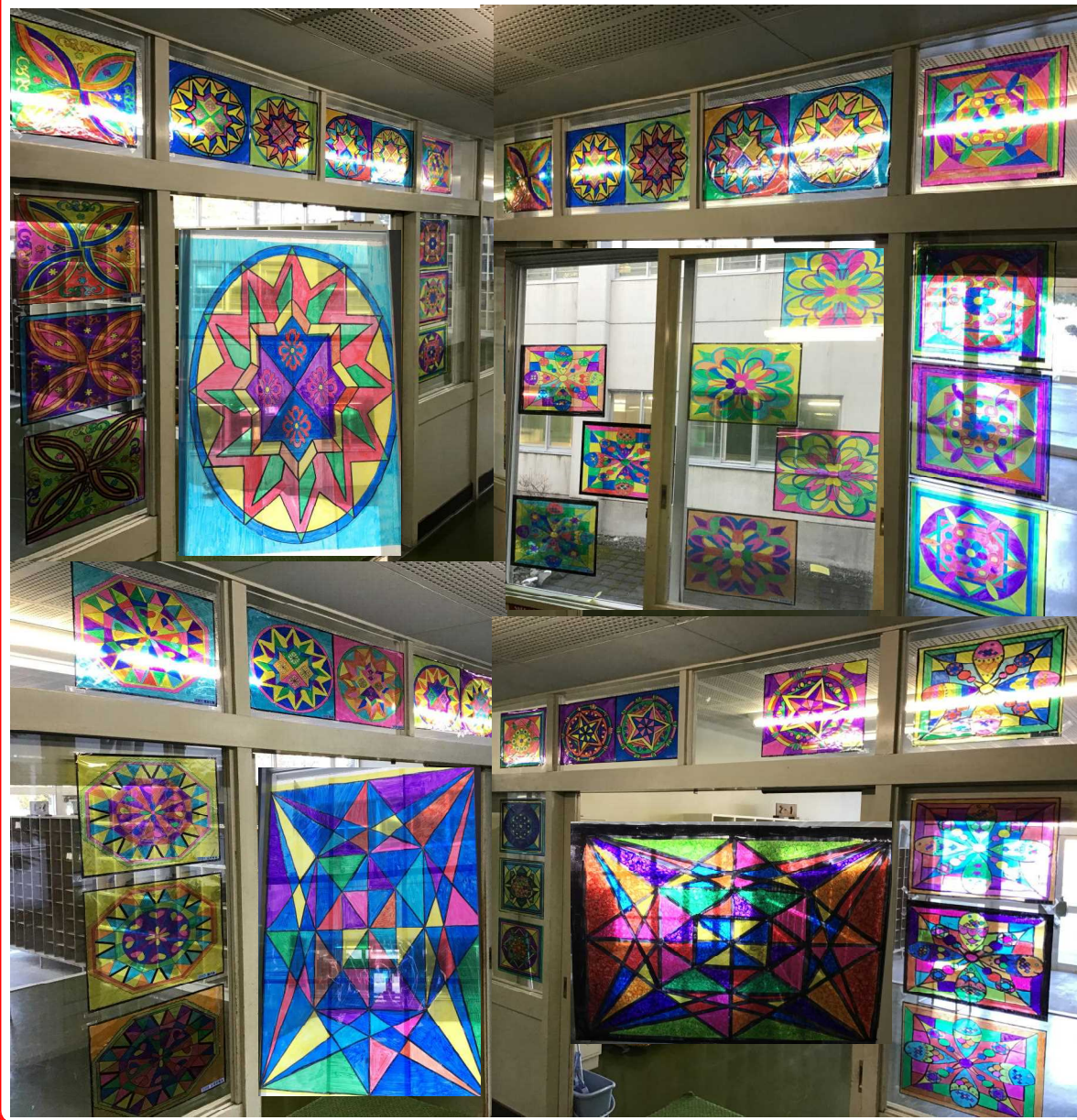
スタンドグラス2学年

北門祭を盛り上げるために、玄関・廊下の装飾として映えるものと考え、2年生はスタンドグラスに挑戦しました。透明の薄手のシートに図案を敷き、上から油性マジックでなぞって色づけをしています。

全員が一人一作品に取り組みました。なかなか色がうまく乗らなかったり、失敗も繰り返しながら、いいものにしようと熱心に作業しました。同じ図案でも、色使いに一人一人の個性が表れていると思います。

また、北門祭スローガン「つなぐ」から、各クラスで2枚の図案を、つないで一つの大きな作品にしました。個人の作品作りから、反省と技術を活かして、さらによりよいものに仕上げようと協力しながら行いました。どのクラスも素敵な作品に仕上がったと思います。

日中はもちろん、少し暗くなった頃に見るとさらに素敵です。是非ご覧ください。



3学年モザイク壁画

北門祭スローガン「つなぐ」からイメージされるものをみんなで考え、モザイク壁画に表してみました。

ステージ作品は「学校行事」。北門中学校の1年間の行事である「入学式」「知里幸恵生誕祭」「体育祭」「北門祭（合唱コンクール）」をまとめました。様々な行事を通してたくさんのことを学んでいます。体育館前廊下作品は「校舎」と「鬼滅の刃」です。北門中は開校60周年を迎えます。先輩方の思いや願いが今につながっているような気がします。校舎も60年前から私たちのことを見てくれています。「鬼滅の刃」は、今年大ヒットしたアニメです。鬼討伐の思いを受け継ぐ若者達の活躍が話題になりました。

一枚一枚の紙に色画用紙を貼るだけでは何を作っているのかわからず、本当に作品になるの？とってしまう人もいたかもしれませんが、こつこつ切って貼る作業をみんな頑張っていました。離れてみると素敵な作品になっています。是非ご覧ください！

